



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 庸介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小城 和紀 TEL 03-6810-0800
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	135,999	4.4	2,774	△31.8	2,665	△33.4	1,555	△25.7
2020年3月期第2四半期	130,297	9.8	4,066	162.8	4,001	216.2	2,094	181.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,566百万円 (△25.6%) 2020年3月期第2四半期 2,106百万円 (170.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	51.89	—
2020年3月期第2四半期	69.85	—

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	184,741	48,264	26.1
2020年3月期	185,551	47,072	25.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 48,264百万円 2020年3月期 47,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	12.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお2021年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,753	2.7	6,552	△13.7	6,331	△14.5	3,260	△51.3	108.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	32,048,000株	2020年3月期	32,048,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,060,954株	2020年3月期	2,060,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	29,987,100株	2020年3月期2Q	29,987,530株

（注）当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

当社は、2020年11月6日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料についてはTDnetにて開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月～2020年9月）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にありましたが、一部では持ち直しの兆しもみられました。

このような経済情勢のもと、当社グループは、地域医療を担う医療機関としての使命を強く認識しながら営業を継続してまいりました。調剤薬局各店舗における感染防止対策としては、受付及び服薬指導カウンターに間仕切りを設置し、飛沫による感染リスクの低減に努めるとともに、店舗設備における消毒、従業員の出勤前検温、マスクの着用、手洗い等の徹底を行っております。加えて、2020年4月10日に厚生労働省から発出された新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした電話や情報通信機器を用いた服薬指導についても、調剤薬局全店で対応しており、患者さまが安心して治療・服薬を継続できる環境の整備に注力いたしました。また、昨年よりグループ一丸となり取り組んできた各種経費抑制施策を継続した結果、期初計画を大きく上回る成果を上げることができました。

調剤薬局事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続し、既存店は厳しい状況が続いておりますが、積極的な新規出店による事業拡大に加えて、前期に出店した65店舗についても順調に業績に寄与しました。また、2020年9月1日より改正薬機法によるオンライン服薬指導が可能となったことから、当社では、自社開発のICTシステムを活用した「日本調剤 オンライン薬局サービス」を開始しました。医薬品製造販売事業においては、積極的な研究開発による自社製造品目の増加に加えて、採算性重視の販売戦略の実行と新製品の販売に注力することで、好調な販売が継続しております。医療従事者派遣・紹介事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響で薬剤師派遣の需要が減少する中、かかりつけ薬剤師の需要が高い薬剤師の紹介事業や、昨年からの体制を拡充し全国展開を行っている医師の紹介事業の拡大に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高135,999百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益2,774百万円（同31.8%減）、経常利益2,665百万円（同33.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,555百万円（同25.7%減）となりました。今後も当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に全力で取り組み、良質な医療提供体制の維持に万全を期して参ります。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

①調剤薬局事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は118,236百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は3,624百万円（同17.8%減）となりました。9月末時点での総店舗数は、同期間に19店舗を新規出店、4店舗を閉店した結果665店舗（物販店舗1店舗を含む）となりました。売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による処方箋枚数の減少があった一方で、長期処方の増加による処方箋単価の上昇や前期に出店した65店舗の寄与もあり増収となりました。営業利益につきましては、処方箋枚数の減少等により減益となりました。なお、ジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、9月末時点で全社平均89.2%を超えており、全国平均を超える水準で推移しております。また、在宅医療実施店舗の割合は9月末時点で全社平均87.4%（年間12件以上実施の店舗割合、新規店舗を含む）と順調に推移しております。

②医薬品製造販売事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は22,812百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は1,163百万円（同0.7%増）となりました。売上高につきましては、4月の薬価改定に伴う既存製品の販売価格の下落があった一方、2019年12月及び2020年6月の新規収載品の好調な販売等により増収となりました。営業利益につきましては、収益性を重視した販売方針に加えて、6月の新規収載品16品目は大部分が自社製造品目であること等により増益となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末での販売品目数は、689品目（一般用医薬品2品目を含む）となっております。

③医療従事者派遣・紹介事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は5,025百万円（前年同期比25.8%減）、営業利益は696百万円（同35.7%減）となりました。売上高につきましては、人材市場の需要変化を捉え、薬剤師の派遣から紹介へのシフトを進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による一層の派遣抑制の影響を受け減収となりました。営業利益につきましては、薬剤師の派遣事業における減収の影響が大きく減益となりました。一方、医師の紹介事業は着実に拡大しており、薬剤師の紹介事業も堅調に推移しております。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は184,741百万円となり、前連結会計年度末の185,551百万円に対し、810百万円、0.4%減少いたしました。主に、現金及び預金、売掛金の減少によるものです。

負債合計は136,476百万円となり、前連結会計年度末の138,478百万円に対し、2,002百万円、1.4%減少いたしました。主に、未払法人税等の減少によるものです。

純資産合計は48,264百万円となり、前連結会計年度末の47,072百万円に対し、1,191百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は26.1%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが2,434百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△3,158百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが△882百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に対して1,606百万円減少し、30,647百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」では、主な収入項目は、売上債権の減少額2,903百万円であり、主な支出項目は、たな卸資産の増加額4,847百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」では、主な支出項目は、調剤薬局事業における既存設備の整備及び新規出店などによる投資を主とした有形固定資産の取得による支出2,750百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」では、主な収入項目は、長期借入れによる収入8,000百万円であり、主な支出項目は、長期借入金の返済による支出8,122百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年4月30日に公表いたしました数値を修正しております。

内容につきましては、本日（2020年10月30日）公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績値の差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,254	30,647
受取手形	181	4
売掛金	20,587	17,924
電子記録債権	1,080	1,016
商品及び製品	22,988	27,131
仕掛品	1,541	1,363
原材料及び貯蔵品	5,431	6,356
その他	3,354	3,445
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	87,414	87,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,922	30,103
土地	14,653	14,411
建設仮勘定	967	1,339
その他（純額）	19,538	19,296
有形固定資産合計	66,082	65,150
無形固定資産		
のれん	16,994	16,865
その他	2,431	2,321
無形固定資産合計	19,425	19,186
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	7,765	7,832
その他	4,846	4,668
投資その他の資産合計	12,628	12,518
固定資産合計	98,137	96,855
資産合計	185,551	184,741

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,659	44,503
電子記録債務	3,131	3,579
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	9,406	11,966
未払法人税等	4,132	1,040
賞与引当金	3,318	3,684
役員賞与引当金	76	6
その他	7,284	6,451
流動負債合計	70,107	71,232
固定負債		
長期借入金	62,963	60,280
役員退職慰労引当金	474	182
退職給付に係る負債	1,957	2,047
その他	2,974	2,733
固定負債合計	68,370	65,244
負債合計	138,478	136,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	35,762	36,943
自己株式	△3,499	△3,499
株主資本合計	47,143	48,323
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△70	△59
その他の包括利益累計額合計	△70	△59
純資産合計	47,072	48,264
負債純資産合計	185,551	184,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	130,297	135,999
売上原価	107,858	112,726
売上総利益	22,439	23,272
販売費及び一般管理費	18,373	20,498
営業利益	4,066	2,774
営業外収益		
受取手数料	20	16
受取賃貸料	209	219
受取補償金	48	51
補助金収入	69	—
その他	80	75
営業外収益合計	429	363
営業外費用		
支払利息	194	162
支払手数料	6	0
支払賃借料	167	166
その他	126	142
営業外費用合計	494	473
経常利益	4,001	2,665
特別利益		
固定資産売却益	30	373
事業譲渡益	34	—
特別利益合計	65	373
特別損失		
固定資産廃棄損	—	375
減損損失	320	—
固定資産売却損	—	0
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	320	375
税金等調整前四半期純利益	3,745	2,662
法人税、住民税及び事業税	1,701	988
法人税等調整額	△50	118
法人税等合計	1,650	1,106
四半期純利益	2,094	1,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,094	1,555

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,094	1,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
退職給付に係る調整額	11	10
その他の包括利益合計	11	10
四半期包括利益	2,106	1,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,106	1,566
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,745	2,662
減価償却費	3,036	3,064
減損損失	320	—
のれん償却額	730	868
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	274	365
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△80	△70
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	86	90
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10	△292
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	194	162
固定資産売却損益 (△は益)	△30	△372
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
事業譲渡損益 (△は益)	△34	—
売上債権の増減額 (△は増加)	342	2,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,281	△4,847
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,889	2,496
未払金の増減額 (△は減少)	△727	△54
その他	△125	△84
小計	11,331	6,891
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△140	△114
法人税等の支払額	△1,324	△4,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,866	2,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,797	△2,750
有形固定資産の売却による収入	236	958
無形固定資産の取得による支出	△237	△344
投資有価証券の売却による収入	0	—
長期前払費用の取得による支出	△42	△61
事業譲受による支出	△603	△841
事業譲渡による収入	52	—
貸付けによる支出	△6	△0
貸付金の回収による収入	41	43
敷金及び保証金の差入による支出	△282	△230
敷金及び保証金の回収による収入	134	89
その他	△2	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,506	△3,158

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100
長期借入れによる収入	8,600	8,000
長期借入金の返済による支出	△14,589	△8,122
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△374	△374
その他	△579	△284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,944	△882
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△584	△1,606
現金及び現金同等物の期首残高	29,749	32,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,165	30,647

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	111,757	11,783	6,756	130,297	—	130,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	9,256	19	9,281	△9,281	—
計	111,763	21,040	6,775	139,579	△9,281	130,297
セグメント利益又は損失(△)	4,408	1,155	1,082	6,645	△2,579	4,066

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,579百万円にはセグメント間取引消去△8百万円及び全社費用△2,571百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(2店舗)の減損損失54百万円を計上しております。また、「医薬品製造販売事業」セグメントにおいて、工場設備の一部について減損損失265百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	118,236	12,771	4,992	135,999	—	135,999
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,041	32	10,073	△10,073	—
計	118,236	22,812	5,025	146,073	△10,073	135,999
セグメント利益又は損失(△)	3,624	1,163	696	5,484	△2,709	2,774

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,709百万円にはセグメント間取引消去△79百万円及び全社費用△2,629百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。